

10月22日まで滞在予定

ウクライナ新体操選手団の避難を受け入れ

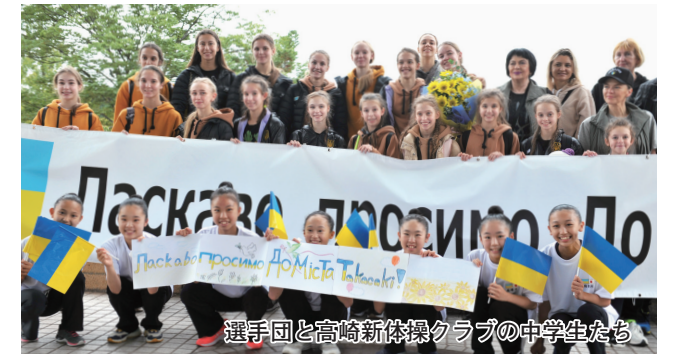
市は、ウクライナから避難してきた同国の新体操選手団を10月5日から22日(出)まで受け入れています。選手団は、選手17人にコーチやスタッフなどを加えた総勢29人で、市内のホテルに滞在。市が提供する高崎アリーナや榛名体育館などで練習を行います。

今回の受け入れは、ウクライナの新体操選手団が困難な状況に直面していることを受け、国際体操連盟が日本体操協会に相談。国際大会の開催や海外からの新体操代表チームの合宿受け入れに実績のある本市に、日本体操協会から協力の要請がありました。

選手たちは、21日(金)まで高崎アリーナなど市内の体育館で練習を行い、一部の選手は20日(木)～23日(日)に東京都で行われるイオンカップ世界新体操クラブ選手権に出場します。ウクライナは新体操の強豪国で、東京2020オリンピックでは団体で7位入賞。イオンカップでも好成績が期待されます。

市内の中学生たちや富岡市長が選手を歓迎。公開練習や文化体験も実施

5日に、滞在するホテルで歓迎式が行われ、高崎新体操クラブの中学生たちが選手団を出迎えました。選手団のヘッドコーチは「サイレンや攻撃の音がない平和な環境で練習できることに、心から感謝しています。次のオリンピックに向けて、新しいダンスのプログラムなどを考えたい」と話しました。7日に、富岡市長が高崎アリーナで歓迎のあいさつを行い、10日には、



選手団と高崎新体操クラブの中学生たち



観客を魅了

観客からは、選手に熱い視線

県内で新体操をする子どもたちや関係者など約400人に練習を公開。見学した高崎東高校の須田愛美さんと小林愛佳さん、中尾中の齊田伊織さんは「練習がままならない状況の中でも、息の合った演技をしていて格好良かった。自分たちと年齢の近い選手の素晴らしい演技に勇気をもらった」と笑顔で話しました。

今後は、国内のチームなどとの合同練習も予定されています。

問い合わせは、高崎財団(☎027-329-5447)へ。

これからのまちづくりに生かす資料です



市民の声アンケートにご協力を

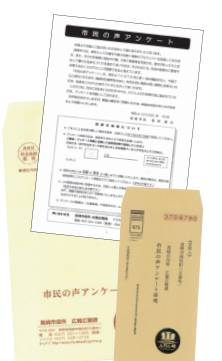
市は、市民の意見や要望をこれからのまちづくりに役立てるため「市民の声アンケート」を実施します。昭和47年に始まったこのアンケートは、2年に1度実施され、今年で22回目となります。

問い合わせは、広報広聴課(☎027-321-1205)へ。

10月中旬に6,000人に発送します

調査事項は、市政全般にわたる継続的な質問を中心に「観光振興」「防災」などに関する質問です。調査結果は、住みよいまちづくりを進めるための基礎資料として活用し、これからの行政運営に生かします。趣旨を理解していただき、回答してください。

対象は、本市に1年以上住民登録のある18歳以上の人で、無作為に抽出した6,000人です。10月中旬にアンケート用紙を発送。回答を記入し、同封の返信用封筒に入れて、10月31日(月)までに投かんしてください。切手は不要です。無記名のアンケートなので、用紙や封筒に住所・氏名を書く必要はありません。インターネットでも回答できます。



返信用封筒に入れ そのまま投かん

村上鬼城顕彰俳句大会

市内の小中学生を対象とした「村上鬼城顕彰第35回小中学生俳句大会」と、「村上鬼城顕彰第36回全国俳句大会」の入選者が決まりました。今年度は、村上鬼城賞に161編、全国俳句大会に1306句、小中学生俳句大会に1万2233句の応募がありました。主な入選者は次のとおりです(敬称略)。

問い合わせは、文化課(☎027-321-1203)へ。

村上鬼城賞入選者(30句1編)

正賞	岩崎 民代(神奈川県平塚市)	作品表題「均す」
佳作	本杉みさ子(神奈川県厚木市)	作品表題「さりげなく」
佳作	武井 禎子(群馬県吾妻郡)	作品表題「雛の深呼吸」
新人賞	中西 亮太(東京都文京区)	作品表題「糊あまく」

全国俳句大会の入選作品

群馬県知事賞	窓を打つ火蛾に麻酔の覚めにけり	(小畑 晴子・大阪府豊中市)
高崎市市長賞	太陽を散らかしてある福寿草	(菊池 王雄・高崎市楽間町)
高崎市議会議長賞	裸子の跳ねて止まらぬ体重計	(田口香代子・高崎市下佐野町)
高崎市教育長賞	八月を見えない雨が降りそそぐ	(大澤 萌衣・前橋市南町)
村上鬼城顕彰会賞	しやばん玉触るれば山河割れにけり	(秋元 俱子・高崎市羅漢町)
	松蟬のちかくに鳴いてあて遙か	(山下しげ人・熊本県八代市)
	蚊遣火やあると思へばある夜風	(須坂 大寒・岐阜県岐阜市)
	どの波も月を乗せくる良夜かな	(土屋 掌・高崎市箕郷町下芝)

小中学生俳句大会の入選作品

大会最優秀賞	書き初めや元気なはらいはみ出した	(林 穂佑生・中川小)
	一点差麦茶の氷かみくみく	(大野優太郎・吉井中央中)
高崎市市長賞	せんぷう機ばくだけ見てよよそ見せず	(松嶋 彪芽・京ヶ島小)
	願わくばマスクも脱げる衣替え	(佐藤 あう・箕郷中)
高崎市議会議長賞	体から白い炎の寒げい古	(豊田 孝治・西小)
	ガラケーに祖母が写した藤と僕	(黒岩 蓮・高南中)
高崎市教育長賞	草の中祖父が残したあやめ咲く	(小澤 佳月・新高尾小)
	炎天下過去の自分と競う夏	(椎名孝太郎・矢中中)
高崎市小学校長会長賞	甦る土の匂いや春の雨	(横山 輝・金古南小)
高崎市中学校長会長賞	たねをまく祖父のゆびさきはるよこい	(田子 青樹・榛名中)
高崎観光協会賞	そらのあおネモフィラのおおくらべっこ	(金森 美空・六郷小)
	気合いれ縮む背のばす寒稽古	(猪内 悠生・中尾中)
高崎市文化協会賞	カマキリがバンザイしていたかえりみち	(石倉 知・南陽台小)
	暑き日にぐらりと街が動き出す	(笹岡 奏仁・矢中中)
高崎市PTA連合会長賞	新学期給食で見る友の顔	(姓原 美湖・塚沢小)
	ボール打つ赤い手のひら白息	(富沢 実生・矢中中)
高崎信用金庫理事賞	朝おきてあさがおのつるまきなおす	(岩下 里桜・中央小)
	今もなお梅の地守る城の跡	(高野朔太郎・箕郷中)
群馬銀行高崎支店賞	夕立ちのにはいがすきで外にでる	(井上 愛菜・浜尻小)
	プール後の塩素のにおい六校時	(中澤 玲香・第一中)